

富山県立魚津工業高等学校 同窓会だより

第 30 号

令和 2 年10月 1 日発行

富山県立魚津工業高等学校

同 窓 会

事務局 〒937-0001 魚津市浜経田3338

魚津工業高等学校内

TEL 0765(22)2577 FAX 0765(22)2578

URL <http://www.uozu-th.tym.ed.jp>Eメール uozu-th@tym.ed.jp

幸福な働き方

同窓会長 米澤 賢太郎

同窓会員の皆様にはますますご健勝で、職場でまた地域で日々活躍のこととお慶び申し上げます。

本年前半は新型コロナウイルスの影響で、経済はもとより教育、社会活動も全国的にマヒをするという、未曾有の経験を致しました。また第二波、第三波もあるという中で先の見通しも立たない状況にあります。一日も早い終息が望まれます。

このような事態にあっても人は休日以外は働かなくてはなりません。働くことは単に個人のやりがいや自分の生活を立てるためだけでなく、支え合いの仕組みに血液を送りこみ、社会の循環を維持する心臓のようなものなのです。幸福に働ける社会とは、そうした循環がうまく回っている社会です。人が幸せに働くためには、自分自身が幸せになるだけでなく、社会全体が幸せになつていかなければいけません。

いまの社会で人が幸せに働くことができない理由のひとつは、二十万人もいると言われるパートやバイト、契約社員など非正規雇用の割合が高いということがあります。非正規の

人たちは正社員との所得格差があるだけでなく、いつ雇い止めになるかわからないなど不安定な働き方を強いられ、経済的自立ができないような状態に置かれています。「幸せな働き方」というのは、普通に働いていけば安心して社会生活が送れるような状態であること、たとえ高給でなくても、いちおう生活できるぐらいの収入があり、仕事の内容は退屈でも、みんなにちよつと喜んでもらえるような仕事ができると思えば、幸せに働けていると思つていいのではないかと思います。真実、他人とくらべず、あせらず、あきらめずに生活してゆく。

そして幸せに働ける仕事の条件とは、「自分自身のではないこと、しなければならぬこと、できること」の3つが一致していることだと思います。

再来年には創校六十周年



片貝川西岸の土手より見た校舎

を迎えます。引き続き会員の皆様のご理解を賜り、本校教育の発展に寄与していく所存であります。結びに、母校の更なる発展と同窓会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。



コロナ禍中での 本校の取り組み

校長 高久直樹

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。4月に校長として着任して半年が経とうとしています。まだまだ慣れないところもありますが、新川地区にある唯一の工業高校として本校が担う、「地域産業の発展を支える工業人の育成」との役割の達成を目指し努めていきたいと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、今年度はこれまで経験したことのないスタートとなりました。

本校では、生徒は、4月8日に一日だけ登校し、翌日から5月17日まで臨時休校となりました。その間、生徒は外出もできず自宅にこもる生活を強いられ、不安からくる精神的苦痛を感じていたのではないかと思います。緊急事態宣言が解除され、分散登校が始まり6月1日にようやく全面再開に至りました。生徒が登校し、授業が始まり、学校が少しずつ活気を取り戻してきました。

このように休校をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大は、学校生活に多くの影響を及ぼしました。

一つ目は学習面です。休校で実施できなかった授業を補うために課題による補充や夏期休業期間を短縮し、学習する

機会を確保しました。

二つ目は学校行事です。やむを得ず中止せざるをえない行事もありましたが、延期や内容を縮小して実施する方向で取り組んでいます。例えば体育大会は、開催を6月から9月にし、競技内容の変更や規模を縮小して実施しました。これまでも違った体育大会でしたが、生徒も自主的に取り組み、大変盛り上がりしました。

三つ目は部活動です。様々な競技やコンクールなどの全国大会の中止に伴い、高校総体など県内大会も中止となり、失意を味わった生徒が多かったと思います。しかし多くの競技では、代替大会が計画・実施され、本校の生徒も出場し、持てる力を出し切ったと思います。同窓生の皆様には生徒の活躍ぶりを報告する機会が減ったことが残念でなりません。

新型コロナウイルスと共存した生活を送らなければならぬ中でも、生徒に様々な経験を積ませ、教職員が一丸となって地域に必要なとされる工業人の育成に取り組んでまいります。

おわりに、同窓会会員の皆様の健康と益々のご活躍を祈念すると共に、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1998(平成10)年関東支部設立以降、歴代関東支部長は、初代 中西武さん(1T)、2代 北鬼江武さん(2E)、3代 溝口敬信さん(3T)、4代 山本進二さん(4E)、5代 朝倉和雄さん(4M)、6代 藤田宗政さん(2E)と個性豊かな方々の後を継ぎ、私が2019年に7代支部長を仰せつかりました。

同窓生の関東圏への就職者は1回生から12回生までが多く、参加会員も同年代で高齢化による参加者の減少が続いている約20名となっています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で第22回目の支部会開催も危ぶまれ、支部会の存続についても危機感を感じている現在です。

第12号ではマンシオンに特化して設立した一級建築士事務所を紹介させて頂きました。その中で新築販売時の建物瑕疵コンサルタントや千葉県浦安市マンシオンの東日本大震災復旧対策コンサルタント等、建築設計事務所では経験できない案件も経験しました。

2017年9月に設計事務所を辞め、現在はマンシオン問題に特化した設立20年のNPO法人で活動しており、管理組合が委託契約している管理会社や設計コンサルタント会社が適



関東支部会と私のその後

NPO法人匠リニューアル技術支援協会理事
職場同窓会 職場同窓会
紹介シリーズ
第5回 機械科 横超和夫 (S42年3月卒)

切に業務を遂行しているかを精査するセカンドオピニオンコンサルタント業務に専念しています。

全国分譲マンシオン数約720万戸、改修工事費約1兆円、設計コンサルタント会社約50社というマンシオン改修業界で、近年特に大きな問題となっているのが不適切コンサルタント問題です。受注談合、過剰設計、施工会社選定(出来レース)とバックマージン、いい加減な工事監理等の横行で、平成28年には国土交通省からマンシオン管理適正化に関する指針が出され、翌29年には不適切コンサルを排除する「通知」が出されました。それを受けて管理組合からの相談として多いのが「マンシオンの大規模修繕工事の設計コンサルタント会社をどのようにして選ば

ばよいか？」です。それに対し、各会社の分析を行うほか設計に対する姿勢、工事の提案力等に注目し、100%発注者の立場で対応するコンサルタントを選ぼうとアドバイスしています。

機械科卒でも土木会社、建設コンサルタント、建築設計事務所、NPO法人と多様な活動を経験している私のような者もいて「望めばかなえられる」ということを後輩に伝えたいと思っています。

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清業のこととお喜び申し上げます。
また、この度は諸先輩方のバトンを受けて、本シリーズへ寄稿をさせていただきまことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

弊社は、現在魚津西部企業団地に本社屋を設けております。私は、鉄工業を営む父の背中を幼少期から見て育ちました。幼いころから稼業を継ぐ事を見据えていたので、魚津工業高校機械科への進学を決めました。卒業後は、(旧)富山職業開発短期大学校(現在の北陸職業能力開発大学校)に進学、卒業し、黒部の鉄工所へ就職させて頂きました。そこでの多くの貴重な経験は、今の私の仕事を行う上で大切な礎となっています。当時、鉄工業に従事し、先輩方の素晴らしい知識と経験に裏打ちされる、金属をまるで紙のように加工する技術に驚かされました。この職種楽しさや厳しさを教えていただくとても大切な時間だったと思います。あの時間があつたからこそ現在の自分がいると、感謝しています。

その後家業である、(有)山越鐵工へ就職しました。2014年より父から代表の役職を承継しました。現在、弊社では、プラント関係の架台、配管等の製作工程でのステンレス、鉄、アルミ等の溶接作業、加工に従事しております。
どの業界にも通ずる部分があると思いま

すが、現在の深刻な「職人不足」は大きな問題となっております。その問題を補うべく、AIによる作業の自動化などIT導入の波が勢いよく押し寄せています。鉄工業でも、ここ数年でロボットによる溶接作業が増えました。溶接機や金属の加工機械のメーカーの日進月歩により、より良い製品を作りやすくなってきた時代だともいえま

ただ機械ではできない作業も必ずあります。現場での溶接作業一つとっても、使用する場所や状況によつて職人ならではの知識と経験によつて知恵を使い方法を変えていく必要があります。その知識と腕を磨いて、知恵を出しながら成果をあげていくことが生き残る術であり、自分自身に言い換えるならば、弊社の役割だと思えます。

長年、培われ継承されてきた技術を得得し、その上で今の技術をフル活用し、より良い製品をお客様にお届けし続けることで、弊社が永年にわたり存続できると確信し、日々精進しております。

今日まで業界の多くの諸先輩方にご教授いただきましたその「恩を、今後は業界を担うであろう志ある若い職人達に少しでも継承できるように、日々邁進いたします。

最後に、同窓会会員の皆様の今後益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



継承
(有) 山 越 鐵 工
同窓会 登壇 第34回
職場紹介 シリーズ 機械科 山越 教 登 (H8年3月卒)

高校卒業後は株式会社ウイズインテックに入社し、データ入力の仕事をしていました。ずっとパソコンの前に座り、一日中データ入力。入社して7年目に転職があり、愛媛・長野・新潟への転勤。その後、富山へ戻ってからは転勤での経験を活かして色んな仕事に関わらせてもらいました。最初は環境が変わることへの不安や、心配などがありましたが、他県に行き、色んな人との出会いを通じて視野が広がったことで仕事の楽しさもありました。そして、入社してから約20年で退職。それまでの感謝と敬意を込めて、1月11日インテックの創立日に退職届を提出。

その後、(株)新川コミュニケーション放送(ラジオ・ミュージック)へ入社。今まではメディアに関してこなかったし、そもそも人前で喋ることが苦手だったので、ある意味自分を变えたいという挑戦的な気持ちもありました。入社してから、発声練習やアナウンスの練習など日々奮闘しています。まだ半人前ではありますが、番組を担当し自分で取材や編集をすること毎日気づく事が沢山あります。



新たな挑戦
ラ ジ オ ミ ュ ー
同窓会 登壇 第36回
職場紹介 シリーズ 電 気 科 山 下 幸 子 (H10年3月卒)

ラジオは音しかないので、耳に残るにはどういう言葉を選んだらいいかを考えるのが一番難しいと思います。

ラジオ・ミュージックに入社した当初、初めてのことばかりで言葉や機械操作を覚える事に必死でした。そして、今年は新型コロナウイルスの発生によつて初めての事が多くありました。色んな職種で影響はあるとは思いますが、ラジオも少なからず影響がありました。イベントの中止や、対面での取材は自粛となり、電話でのインタビューになりました。そんな中でも、色々な方にお話を聴く機会があり「こんな時だからこそ、ラジオだよね」「こんな新しい事を始めたので、頑張っているところをラジオで伝えたい。」という声もいただきました。

これからも「出来ないことを嘆くよりも、出来る事を楽しもう。」という座右の銘を胸に、常に今できる事は何かを考え、ラジオで発信していけたらいいなと思っています。

最後に、母校のますますの発展と、同窓会の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

熱中症対策機器が 導入されました

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から5月末まで、県立高校において臨時休校が実施されました。これに伴い、本校では不足が生じた授業時数を確保するために、7月末日まで授業を行い、8月17日から授業を再開することにしました。

県では、学校再開に際して、暑い時期に授業を行うための熱中症対策に係る機器の導入を決定しました。

本校には、冷風扇25台・工場扇6台・ウインドエアコン23台・スポットクーラー13台が導入されました。

これまで、暑さを我慢していた特別教室、実習室や機械工場など、エアコン未整備の場所において、熱中症対策をとりながら、新型コロナウイルス感染症に注意して学習活動が行えるようになりました。

生徒諸君には、新型コロナウイルス感染症や暑さに負けず、元気に高校生活を送って欲しいと思います。



工場扇
(羽根径 1000mm)



冷風扇
(幅720×奥行447×高さ1226mm)

教育用クラウドサービスが 導入されました

臨時休校期間中の授業の補填を行うため、スマートフォンや家庭のパソコン(インターネット接続)で、教材や連絡事項の受信ができる教育プラットフォーム「マイクロソフト社のTeams」を導入しました。マイクロソフト社の基本ソフトも利用することができ、大変便利なツールです。

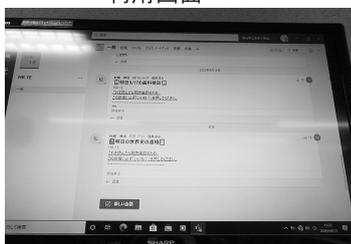
休校期間中は、ホームルームを実施するなど、担任の先生が中心となって、生徒とのコミュニケーションツールとして利用しました。

休校措置の解除後は、ホームルームの連絡のみならず、授業の補填(解説の掲載、課題の提示)、資格・検定試験対策、部活動のコミュニケーション、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客での開催となった体育大会の様子を動画配信するなど、利用は多岐に渡っています。

今後は、コンテンツの充実を図りながら、生徒が主体的に、授業の振り返りや学び直しに利用できるよう周知していききたいと思います。



上：各クラス用チーム
下：クラス用チームの利用画面

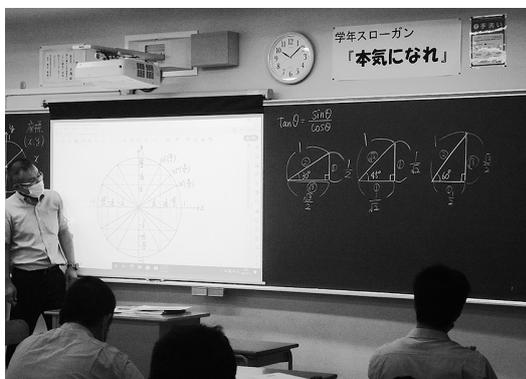


普通教室にプロジェクタ ・スクリーン設置

平成28年3月に策定した富山県教育大綱を受けて、「ICT環境の整備」および「ICT利活用の推進」を目標とするICT教育推進事業が実施されてきました。短い夏休み期間を利用し、全普通教室12室に、天井吊下げ式プロジェクタ、ならびに、黒板上部固定式ロールスクリーンが設置されました。

2学期が始まり、授業等でも積極的に利用され、生徒に分かり易い授業が実践されています。

また、来年度には、全生徒・教職員を対象にタブレット端末が貸与される予定で、ICT機器を有効活用した効果的な授業が一層推進されます。生徒諸君には、主体的・対話的で深い学びにつなげて欲しいと思います。

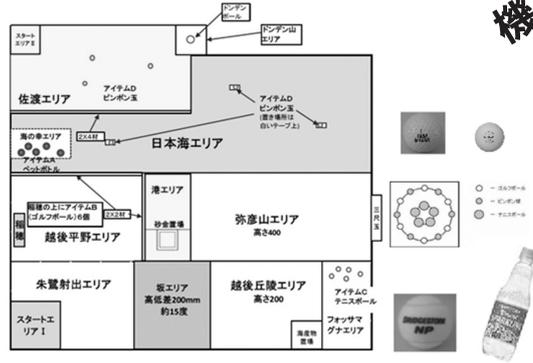


天井吊下げ式プロジェクタ
NP04WK
ロールスクリーン
WE111(幅1723×高さ1077mm)

機械工学部

全国ロボット競技大会3位!!

〈念願の全国入賞達成〉



ロボット競技大会とは、毎年4月に全国大会開催県にちなんだルールが発表され、その課題をこなすロボットを生徒が製作し、操縦して得点等を競う大会です。昨年の富山県大会は砺波工業高校で9月8日に、全国大会は新潟県で11月26、27日に開催されました。ルールは、新潟の名所、名物をモチーフとしており、ピンポン球やテニスボール、ゴルフボールを、三尺玉に見立てた花火台に設置したり、トキに見立てたプラスチック段ボール製のリングを、約3m先の棒に飛ばして入れたりするなど、非常に難易度の高いものでした。

まず、4月から試作が始まりました。それぞれのアイテムを異なる場所から取得するため、メンバーがそれぞれの機構を担当して考えることとしましたが、1つ1つが難しかったためなかなか決定できず、また、組み合わせたときの干渉や寸法オーバーなどの問題が多く発生したため、完成が計画よりも大幅に遅れてしまいました。しかし、今大会の目玉であるトキ射出の精度には、研究の成果があり、かなり自信を持てるものとなりました。県大会本番では操縦ミスや基板トラブルが出たことや、想定外の会場環境への対応ができなかったこともあり、5位という悔しい結果になってしまいました。

なんとか出場権を得た全国大会では絶対に力を出し切り、上位入賞したいという思いを胸に、約1ヶ月間、故障トラブル対策と操縦練習、自立ロボットのスピードアップに取り組みました。自信を持って挑んだ全国大会でしたが、初日の公式練習で、いくつかの重大なトラブルが発生し、大至急その場で本番に向けての修理、調整を行いました。心配な状況で迎えた予選では、大きなトラブルは改善され、21位で通過することができました。その後の決勝トーナメントでは、対戦を重ねる度に操縦に慣れ、生徒は楽しみながら試合に挑んでいるようで、相手を圧倒して勝ち進むことができました。準決勝で惜しくも負けてしまいましたが、三尺玉を完成させ、トキを10枚全て入れるなど、今までの活動成果を見せることができ、念願だった初の全国入賞を果たすことができました。

今回のメンバーは、好きなことを自分達で調べて追求する力があり、指示がなくとも新しい技術にどんどんチャレンジする生徒たちでした。彼らを見て、人を育てるのは、好奇心を引き出し、それを伸ばす環境であると実感しました。今後も、生徒の人間力を育てる環境づくりに努めていきたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和元年度 同窓会総会

令和元年度魚津工業高校同窓会総会が、11月19日(土)午後6時よりスカイホテル魚津にて開催されました。米澤会長(第3回機械科卒)の開会挨拶に引き続き、吉田校長、横超和男(第5回機械科卒)がそれぞれ挨拶されました。永年勤続教職員表彰では10年勤続の高木義春先生、大久保博司先生に感謝状および記念品が贈呈されました。

続いて議題に入り、平成30年度会務並びに事業報告、同窓会一般会計・同事業会計・魚工展積立会計、全国大会特別会計・同窓会部活動助成費特別会計の決算並びに監査報告、平成30年度事業並びに会務計画(案)、一般会計予算(案)等が審議され、いずれも満場一致で承認されました。総会終了後、会員34名 教職員17名 計51名の参加を得て、宮島常任幹事(第19回機械科卒)の司会進行にて懇親会が催されました。

会長、校長の挨拶後、横超関東支部長による乾杯の音頭にて開会され、和やかで明るい雰囲気の中でお互いの近況報告や情報交換そして高校時代の思い出話に花が咲きました。そ

の折に、関東支部から参加された横超支部長と松岡支部会員(第9回電気科卒)が第21回関東支部総会の報告(開催日:平成30年7月13日(土)、場所:帝国ホテル)をされ、参加者一同興味深く聞き入りました。最後に、校歌を参加者一同で声高らかに斉唱し、閉会の挨拶で大盛況の内に懇親会を終え、気の合う仲間同士で夜の繁華街へ繰り出しました。



令和元年度 総会

生徒の進路希望と求人状況

【就職】県内企業の5割が令和3年春の採用計画を「不足感あり」と回答しました。定年退職者の増加などによる世代交代、事業領域の拡大などに対応するためであり、人材確保に積極的な姿勢が見られます。一方、新型コロナウイルスの影響に関して、全体の8割が国内外の景気が低迷すると見通しを示しました。新型コロナウイルスの感染の終息が未だに見通しのつかない現状です。

8月下旬での県内企業数は310社、求人数は522名と昨年のほぼ2割減です。これに対して就職希望者は全体の約74%にあたる115名。この時期での有効求人倍率はほぼ4.7倍です。就職希望者は8月の中旬には、ほぼ応募先を決定することになります。ここ数年、企業は意欲のある優秀な人材を求めており、選考試験の競争もさらに激しさを増しています。生徒達は危機感を持ち、夏休み中も履歴書の作成や作文・面接練習に励み、試験に備えています。

【進学】今年の進学希望者は26%で、昨年度に比べて6名増です。北陸職業能力開発大学の進学希望者が7名増えていることが要因です。進学希望の生徒たちには、何のた

にした上で勉学に励むように指導しております。生徒たちが志望校に合格し、それぞれが思い描いた学校生活を送ることを願っています。本校を巣立っていく生徒たちは、同窓会の諸先輩方にお世話になることと存じます。つきましては、今後とも厳しくも温かいご指導をよろしくお願ひ致します。



○ 求人企業数・求人数			
県内	310社(351社)	522名(651名)	
県外	265社(244社)	195名(248名)	
○ 就職希望者			
	115名	全体比74%(119名)	全体比78%
県内	112名(115名)		
県外	5名(4名)		
○ 進学希望者			
	40名	全体比26%(34名)	全体比22%
大学	7名(15名)	短大	2名(2名)
能開大	13名(6名)	公共職訓	3名(2名)
専門	15名(9名)	未定	0名(0名)
※データは8月28日現在、()は昨年実績			
今年度卒業予定者数 155名(昨年度卒業生徒数 153名)			

第33回 工業技術論文発表大会(ミラコン2020)奨励賞 受賞
 2020年単三電池10本で走る電動アシスト自転車の研究

3E 石山 直幸、大島 龍雅、岡田 侑大、広田 溪

第33回工業技術論文発表大会が1月24日(金)に富山市民プラザで開催されました。電気科2年生のメンバーで臨み、高齢者の方や女性などの足腰の弱い人々を対象に、楽に楽しく買い物や通勤ができるようにしたいと思ひ、前回ミラコン号を改良し、より良い電動アシスト自転車を製作しました。

目標は、回生エネルギーを利用し、電池を充電しアシスト距離を伸ばすこと、違和感のあった乗車感覚を改善すること、伝達ロスを省きモーターの消費電力を節約すること、アシスト制御方法を改良し、人に寄り添う思いやりのあるアシストにすることでした。

改良の確認のため使用予定であるモータとプリー、Vベルトの耐久性を調べるため鈴鹿サーキットで行われている「Ener-Challenge」や第11回ありがとうフェスタ(富山自動車学校)に参加しました。アクシデントや課題を乗り越えて、ようやく完成したのは、12月中旬ごろでした。主な改良点としては、プリーとベルト駆動を採用し、動力伝達ロスを軽減し、モータの消費電力を抑

え、通常の自転車のように軽くペダルを漕ぐことができるようになり、思いやり制御2で体重を新たに加えることでさらにきめ細かな制御とすることができました。

プレゼンの練習では自分たちの製作したものを上手く伝えるために、たくさん先生方に指導していただきました。毎日、夜遅くまで残りプレゼン資料の修正や練習を繰り返しましたが、一番良い発表ができ、やり遂げた気持ちになりました。

協力して下さいました先生方、一緒に頑張ってきたメンバーのおかげだと思ひます。本当にありがとうございます。



KV-BIKE

電気工学部

電気工学部は、毎年8月上旬に行われるEner-Challenge KV-BIKEに出場しています。2014年の第1回大会から出場しており、昨年で6度目の出場となりました。KV-BIKEは、市販の自転車を電動バイクに改造し、充電式単三電池40本で走行します。三重県にある鈴鹿サーキット東コースを舞台に開催される競技です。ガソリンを使用せず、電気のみを使用した新しいエネルギーマネージメント競技として注目されています。1周のタイムを競う「ONELAPタイムアタック」と1時間の周回数を競う「ekidenロングディスタンス」の合計ポイントで順位を決めます。

昨年出場した車両は、2017年にクラスII、高等学校部門で3位入賞した車両を改良したものの(Aチーム)と、20インチライヤの折りたたみ自転車をベースにし、モータの伝達方式をより向上させて製作した車両(Bチーム)の2チームで出場しました。

大会当日は、朝6時にサーキットに到着し、実際に走行するコースの下見や車検の準備を行いました。車検は車両仕様書のチェック、ライダーの重量測定、装備品チェック、車体の重量や車両規則に合わせた検査、バッテリーや計器類のチェック、制動テスト、ブレーキテストなどが行われました。Aチーム、Bチームともギアボックスやブレーキの力カバに不備があり再車検になりましたが、チームみんなで協力して作業を行い、無事車検にパスしました。

競技は、最初に「ONELAPタイムアタック」が行われ、Aチーム、Bチームともに順調に走行することが出来ました。結果はAチームが全体9位、Bチームが全体3位と好成绩で「ekidenロングディスタンス」に挑むことになりました。「ekidenロングディスタンス」は、競技中は最低2回ピットインが義務付けられており、ピットイン後に再コースインするまでに最低5分以上ピットにとどまっていけないといけません。違反した場合は1周の周回数減となり、ピットインの間にドライバーの交代が可能で、ピットインのタイミングも勝敗の鍵を握っています。一昨年はピットとドライバーの連携ミスがあり、入賞を逃し悔しい思いをしたので、昨年度は各自の役割を明確にし、責任持って行うことを徹底しました。結果は、Aチームが全体10位、Bチームが全体3位でした。

総合成績は、AチームがクラスII・高等学校部門で3位、BチームがクラスII・高等学校部門で1位でした。クラスIIの優勝と2チーム同時の表彰台は過去最高の結果となりました。

今年は、コロナウイルスの関係で大会が中止となり部員一同悔しい思いをしました。来年は、今年出られなかった3年生の思いを背負って好成绩を残せるよう、ものづくりの技術を磨いていきたいと思います。



母 校 だ よ り

教職員の人事異動

(令和2年3・4月)

令和元年度末の人事異動により、次の方々の異動がありました。

ご退職・ご転出されました先生方には、これまでのご指導に深く感謝し、一層のご健勝とご活躍をお祈り致します。

ご転入の先生方には、本校に新鮮な息吹を吹き込んでいただきたく、ご活躍を期待申し上げます。

◎ご転出(役職や教科)・転出先

- 吉田 幸市(校長)・桜井高校
- 堀田 行子(再任用・国語)・雄山高校
- 折戸 涼太(社長)・富山いずみ高校
- 松本 進吾(数学)・富山北部高校
- 島田 和広(英語)・富山中部高校
- 浅野 淳一(電気)・富山工業高校定時制
- 荒木 雄介(電気)・砺波工業高校
- 吉野 朱美(養護教諭)・呉羽高校
- 澤井 和則(副主幹)・総合教育センター
- 松岡 航平(主事)・黒部市立たかせ小学校

◎ご転入(役職や教科)・前所属

- 高久 直樹(校長)・富山工業高校
- 伊井 昌彦(国語)・新規採用
- 榎本 啓司(社会)・滑川高校
- 笠田 和宏(数学)・にかわ総合支援学校
- 吉倉 紀子(英語)・水橋高校
- 松嶋 伸治(電気)・富山工業高校
- 佐伯 智成(電気)・高岡工業高校
- 竹本 詩織(養護教諭)・にかわ総合支援学校
- 立野 篤(副主幹事務長)・志貴野高校
- 中川 翔太(主事)・立地通商課

部活動の記録

★電気工学部

パソコン甲子園
(全国高等学校パソコンコンクール)
モバイル部門
予選突破(11月の全国大会出場決定)

横川(2M1)、坂東(2E)、寶田(2J)
高校生ものづくりコンテスト
電子回路部門

優秀賞 坂東(2E)
優良賞 木原(1J)

★環境科学部

2019年度REHSE高校生による環境安全
とリスクに関する自主研究活動
研究奨励賞 飛、木野本、得能(2J)

★書道部

魚津埋没林博物館
企画展「喜見城立つ」に出展
書道・板金

★陸上部

TOYAMA A2020 高校スポーツ交流大会
走高跳 8位 和田(1M2)

★野球部

TOYAMA A2020 高校野球大会 ベスト8

★サッカー部

TOYAMA A2020 高校スポーツ交流大会
ベスト16(シード校に惜敗)

★バスケットボール部

TOYAMA A2020 高校スポーツ交流大会
2回戦でベスト4チームに敗退

★卓球部

高校新人卓球選手権大会
シングルス ベスト32 長谷田(2J)

★剣道部

新川地区高等学校体育大会
男子団体 優勝

佐藤(2J)、飯田(2M)、坂本(1J)

★柔道部

第66回 富山県高等学校秋季柔道選手権大会
男子個人 73kg級 3位 後藤(2M1)

第18回

魚工展のご案内

令和2年11月7日(土)
10:00~14:30

One For All, All For One.

~みんなでenjoy 僕らだけの魚工展~

今年の魚工展は、新型コロナウイルスの感染予防のため、生徒と保護者のみを対象として開催します。一般公開・特別講演は行いません。

令和2年度

総会のご案内

とき 平成29年11月7日(土)
18:00~

ところ スカイホテル魚津
(旧ホテルサンルート魚津)

新型コロナウイルス感染予防のため、懇親会は開催いたしません。

11月20日に予定しておりました吹奏楽定期演奏会は、新型コロナウイルスの感染予防のため、中止といたします。